注３ **大学番号：私034**

届出

［平成２９年度設置］

計画の区分： 学部の学科の設置

注１

浦和大学　こども学部　学校教育学科

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人九里学園

令和元年５月１日現在

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例）　〇〇大学　△△学部　□□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、平成３１年４月２日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人九里学園

（2）大　学　名

浦和大学

（3）調査対象大学等の位置

〒３３６－０９７４
埼玉県さいたま市緑区大崎３５５１

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ヒサダユウ） 久田有 （平成29年2月）		
学　　長	（オオクボヒデコ） 大久保秀子 （平成27年4月）	（ヒサダユウ） 久田有 （平成31年4月）	任期満了のため 平成31年4月1日（元）
学 部 長	（ヤマグチカズタカ） 山口和孝 （平成29年4月）	（デグチマサオ） 出口雅生 （平成31年4月）	任期満了のため 平成31年4月1日（元）
学科長等	（デグチマサオ） 出口雅生 （平成29年4月）	（ヤベカズオ） 矢部一夫 （平成31年4月）	任期満了のため 平成31年4月1日（元）

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成３０年度に報告済の内容　→（30）
令和元年度に報告する内容　→（元）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２７年度開設の４年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの５年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
こども学部 学校教育学科 学士（教育学）	教育学・保育学関係	年 4	人 30	年次 人	人 120	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A　入学定員	人 (　) [　]	人 [　]	人 (　) [　]	人 [　]	30人 (－) [－]	－人 [－]	30人 (－) [－]	－人 [－]	30人 (－) [－]	－人 [－]	0.68倍	—	
志願者数	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	32 (－) [－]	－ (－) [－]	40 (－) [－]	－ (－) [－]	64 (－) [－]	－ (－) [－]			
受験者数	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	30 (－) [－]	－ (－) [－]	40 (－) [－]	－ (－) [－]	61 (－) [－]	－ (－) [－]			
合格者数	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	28 (－) [－]	－ (－) [－]	34 (－) [－]	－ (－) [－]	53 (－) [－]	－ (－) [－]			
B　入学者数	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	(　) [　]	19 (－) [－]	－ (－) [－]	19 (－) [－]	－ (－) [－]	24 (－) [－]	－ (－) [－]			
入学定員超過率 B／A					0.63		0.63		0.8				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	19 [－] (－)	－ [－] (－)	19 [－]	－ [－]	24 [－]	－ [－]	
２年次			[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	18 [－] (－)	－ [－] (－)	19 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	18 [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	[　　] (　　)	
計	[　　] (　　)		[　　] (　　)		19 [－] (－)		37 [－] (－)		61 [－] (－)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	退学者数	うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	19 人	1 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1 人	人	進路変更(1人)
平成30年度	37 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0 人	人	
			平成30年度	0 人	人	
令和元年度	61 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0 人	人	
			平成30年度	0 人	人	
			令和元年度	0 人	人	
合　計		1 人		1 人	人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} =$ #DIV/0! %

【平成28年度】

$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} =$ #DIV/0! %

【平成29年度】

$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{19} =$ 5.26 %

【平成30年度】

$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{37} =$ 0 %

【令和元年度】

$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{61} =$ 0 %

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜こども学部　学校教育学科＞

（1）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
人間総合科目	学びの技法	スタディナビゲーションA	1前	1			5	2	2			
		スタディナビゲーションB	1後	1			5	2	2			
		スタディナビゲーションC	2前	1			5	2	2			
		スタディナビゲーションD	2後	1			5	2	2			
	文化・社会	社会学	1･2･3･4前･後		2							1
		法学（日本国憲法を含む）	1前	2								1
		現代人と宗教	1･2･3･4後		2							1
		ボランティア・NPO論	1･2･3･4前		2							1
		経済学	1･2･3･4前		2							1
		歴史入門	1･2･3･4前･後		2							1
		文学と人間	1･2･3･4後		2							1
		音楽文化史	1･2･3･4後		2			1				
		美と表現	1･2･3･4前･後		2							2
		歌舞伎入門	1･2･3･4前･後		2			1				
		日本文化	1･2･3･4前･後		2			1				
		ジャパノロジー入門	1･2･3･4前･後		2			1				
		カナダ文化の理解	1･2･3･4前		2							1
		アジアの社会と文化	1･2･3･4後		2							1
		アメリカの生活と文化	1･2･3･4後		2							1
	生命・自然	自然科学の成立と発展	1･2･3･4前		2							1
		生命の倫理	1･2･3･4後		2							1
		心理学	1･2･3･4前･後		2							1
		生活と環境	1･2･3･4前･後		2							1
		色彩論	1･2･3･4前		2							1
		生き物の科学	1･2･3･4前･後		2				1			1
		宇宙へのアプローチ	1･2･3･4後		2							1
		健康とスポーツ	1後	2								1
		体育実技	1前	1								1
	コミュニケーション	コミュニケーションスキル	1･2･3･4後		1							1
		アートコミュニケーション	1･2･3･4前		1							1
		コンピュータリテラシⅠ（基礎）	1前	1					1			
		コンピュータリテラシⅡ（応用）	1後	1					1			
		英語コミュニケーションA（こどもの文化）	1･2･3･4前･後		1							1
		英語コミュニケーションB（日常会話）	1･2･3･4前･後		1							1
		中国語コミュニケーション	1･2･3･4前･後		1							1
		韓国語コミュニケーション	1･2･3･4前･後		1							1
		日本語表現	1･2･3･4前･後		1		1					
		キャリアデザイン	2･3･4後		1							1
		キャリアインターンシップ	2･3･4通		2		1					2
こども総合科目	こどもの総合的理解	こども理解と観察	1通	2			1					
		こどもの権利	1後		2							1
		現代家族とこども	3前		2							1
		こどもと福祉社会	2後		2							1
		世界のこどもと教育	2後		2		1					
		こどもの安全と危機管理	3前		2		2					
		ジェンダーと現代社会	1後		2							1
		フィールド体験	1通		1				2			14
		海外セミナー(カナダ)	1･2･3後		2			1				2

【令和元年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
人間総合科目	学びの技法	スタディナビゲーションA	1前	1			6	1	2			
		スタディナビゲーションB	1後	1			6	1	2			
		スタディナビゲーションC	2前	1			6	1	2			
		スタディナビゲーションD	2後	1			6	1	2			
	文化・社会	社会学	1･2･3･4前･後		2							1
		法学（日本国憲法を含む）	1前	2								1
		現代人と宗教	1･2･3･4後		2							1
		ボランティア・NPO論	1･2･3･4前		2							1
		経済学	1･2･3･4前		2							1
		歴史入門	1･2･3･4前･後		2							1
		文学と人間	1･2･3･4後		2							1
		音楽文化史	1･2･3･4後		2		1					
		美と表現	1･2･3･4前･後		2							2
		歌舞伎入門	1･2･3･4前･後		2			1				
		日本文化	1･2･3･4前･後		2			1				
		ジャパノロジー入門	1･2･3･4前･後		2			1				
		カナダ文化の理解	1･2･3･4前		2							1
		アジアの社会と文化	1･2･3･4後		2							1
		アメリカの生活と文化	1･2･3･4後		2							1
	生命・自然	自然科学の成立と発展	1･2･3･4前		2							1
		生命の倫理	1･2･3･4後		2							1
		心理学	1･2･3･4前･後		2							1
		生活と環境	1･2･3･4前･後		2							1
		色彩論	1･2･3･4前		2							1
		生き物の科学	1･2･3･4前･後		2				1			1
		宇宙へのアプローチ	1･2･3･4後		2							1
		健康とスポーツ	1後	2								1
		体育実技	1前	1								1
	コミュニケーション	コミュニケーションスキル	1･2･3･4後		1							1
		アートコミュニケーション	1･2･3･4前		1							1
		コンピュータリテラシⅠ（基礎）	1前	1					1			
		コンピュータリテラシⅡ（応用）	1後	1					1			
		英語コミュニケーションA（こどもの文化）	1･2･3･4前･後		1							1
		英語コミュニケーションB（日常会話）	1･2･3･4前･後		1							1
		中国語コミュニケーション	1･2･3･4前･後		1							1
		韓国語コミュニケーション	1･2･3･4前･後		1							1
		日本語表現	1･2･3･4前･後		1		1					
		キャリアデザイン	2･3･4後		1							1
		キャリアインターンシップ	2･3･4通		2		1					2
こども総合科目	こどもの総合的理解	こども理解と観察	1通	2			1					
		こどもの権利	1後		2							1
		現代家族とこども	3前		2							1
		こどもと福祉社会	2後		2							1
		世界のこどもと教育	2後		2		1					
		こどもの安全と危機管理	3前		2		2					
		ジェンダーと現代社会	1後		2							1
		フィールド体験	1通		1				2			12
		海外セミナー(カナダ)	1･2･3後		2			1				2

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
こども総合科目	こどもの表現と文化	こどもの表現と創造性	2前	2				1				1
		合奏アレンジメント	2･3･4後		1			1				
		ヴォーカルボディワーク	1･2･3･4前･後		1							1
		ヴォーカルアンサンブル	1･2･3･4前･後		1							1
		ソングライティング	3･4前		2			1				
		音響デザインとテクノロジー	3･4後		2							1
		ストリートダンス	1･2･3･4前		1							1
		絵画制作	2･3･4前･後		1							1
		イノセンスアート	2･3･4後		1							1
		児童文化	2･3･4前		1							1
		紙芝居入門	2･3･4後		1							1
		英語の歌あそび	2･3･4後		1							1
		地球のことばと表情	2･3･4前		2							1
		自然観察	2通		1				1			
		スクールガーデニングA	1･2･3･4通		1							1
		スクールガーデニングB	1･2･3･4通		1							1
教育専門科目	児童・生徒の理解	近代市民社会と学校	3前		2		1					
		教員養成の歴史	3後		2				1			
		学校教育の現代的課題	2前		2							1
		臨床心理学	3後		2		1					
		家族の心理学	2･3･4前･後		2		1					
		グループダイナミクス	3後		1							1
		特別支援教育入門	1後		2							1
	教育の実践と応用	スクールソーシャルワーク	2後		2							1
		学校経営と学校図書館	3前		2							1
		学校図書館メディアの構成	3後		2							1
		学習指導と学校図書館	4前		2							1
		読書と豊かな人間性	3前		2		1					
		情報メディアの活用	4後		2							1
		外国語活動指導法	4前		2							1
		教育インターンシップA	1通	1			5	2	2			
		教育インターンシップB	2通		1		5	2	2			
		教育インターンシップC	3通		1		5	2	2			
		教育インターンシップD	4通		1		5	2	2			
		介護等体験	4通		1				1			
	教職基礎・教科指導法	教職入門	1前	2			2					1
		教育学概論	1前	2			1					
		教育心理学基礎論	1後	2								1
		教育の制度と経営	2後	2			1					
		教育課程論	2後	2								1
		初等国語科指導法	2後	2			1					
		初等社会科指導法	2後	2								1
		算数指導法	2後	2			1					
		初等理科指導法	3前	2					1			1
		生活科指導法	1後	2								1
		初等音楽科指導法	2前	2								1
		図画工作指導法	1後	2								1
		初等家庭科指導法	2後	2				1				
		初等体育科指導法	2前	2								1
		初等特別活動論	1前	2								1
		教育の方法と技術	3前	2								1
		初等道徳教育	2前	2								1
		児童指導基礎論	3前	2								1
		教育相談の基礎	3後	2			1					

【令和元年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
こども総合科目	こどもの表現と文化	こどもの表現と創造性	2前	2			1					1
		合奏アレンジメント	2･3･4後		1		1					
		ヴォーカルボディワーク	1･2･3･4前･後		1							1
		ヴォーカルアンサンブル	1･2･3･4前･後		1							1
		ソングライティング	3･4前		2		1					
		音響デザインとテクノロジー	3･4後		2							1
		ストリートダンス	1･2･3･4前		1							1
		絵画制作	2･3･4前･後		1							1
		イノセンスアート	2･3･4後		1							1
		児童文化	2･3･4前		1							1
		紙芝居入門	2･3･4後		1							1
		英語の歌あそび	2･3･4後		1							1
		地球のことばと表情	2･3･4前		2							1
		自然観察	2通		1				1			
		スクールガーデニングA	1･2･3･4通		1							1
		スクールガーデニングB	1･2･3･4通		1							1
教育専門科目	児童・生徒の理解	近代市民社会と学校	3前		2		1					
		教員養成の歴史	3後		2				1			
		学校教育の現代的課題	2前		2							1
		臨床心理学	3後		2		1					
		家族の心理学	2･3･4前･後		2		1					
		グループダイナミクス	3後		1							1
		（移動）										
	教育の実践と応用	スクールソーシャルワーク	2後		2							1
		学校経営と学校図書館	3前		2							1
		学校図書館メディアの構成	3後		2							1
		学習指導と学校図書館	4前		2							1
		読書と豊かな人間性	3前		2		1					
		情報メディアの活用	4後		2							1
		（移動）										
		教育インターンシップA	1通	1			**6**	**1**	2			
		教育インターンシップB	2通		1		**6**	**1**	2			
		教育インターンシップC	3通		1		**6**	**1**	2			
		教育インターンシップD	4通		1		**6**	**1**	2			
		介護等体験	4通		1				1			
	教職基礎・教科指導法	教職入門	1前	2			2					1
		教育学概論	1前	2			1					
		教育心理学基礎論	1後	2								1
		特別支援教育	1後	**2**								1
		教育の制度と経営	2後	2			1					
		教育課程論	2後	2								1
		初等国語科指導法	2後	2			1					
		初等社会科指導法	2後	2								1
		算数指導法	2後	2			1					
		初等理科指導法	3前	2					1			1
		生活科指導法	1後	2								1
		初等音楽科指導法	2前	2								1
		図画工作指導法	1後	2								1
		初等家庭科指導法	2後	2				1				
		初等体育科指導法	2前	2								1
		初等英語科指導法	**3前**	**2**								1
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	**1後**	2								1
		教育の方法と技術	3前	2								1
		初等道徳教育	2前	2								1
		児童指導と進路指導	3前	2								1
		教育相談の基礎	3後	2			1					

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教育専門科目	教科専門	初等国語	2後	2			1					
		社会	2前		2							1
		算数	2前		2		1					
		初等理科	2後		2				1			
		生活	1前		2				1			1
		初等音楽	1前		2			1				
		ピアノ演習A	1前		1							1
		ピアノ演習B	1後		1							1
		図画工作	1後		2							1
		初等家庭	2前		2			1				
		初等体育	1後		2							1
	実践に学ぶ	教育実習指導	3前		1		5	2	2			
		教育実習	3後		4		5	2	2			
		教職実践演習	4後		2		3	2	1			
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	3通	2			5	2	2			
		卒業研究Ⅱ	4通	2			5	2	2			

卒業要件及び履修方法

＜卒業要件＞
・授業科目区分ごとに定める最低履修単位数の計96単位以上（うち必修科目60単位）、及び授業科目区分に関わりなく履修する選択科目の単位数計30単位以上により、合計126単位以上を修得すること。
・学則に定める自由履修科目（他学部・他学科の授業科目等）については12単位を上限として卒業要件単位数に含めることができる。
＜履修方法＞
・授業科目区分ごとに定める最低履修単位数の修得方法はア～ウとする。
ア.「人間総合科目」区分から必修科目11単位、選択科目は、「文化・社会」分野から2単位以上、「生命・自然」分野から1単位以上、「コミュニケーション」分野から、「英語コミュニケーションA」「英語コミュニケーションB」「中国語コミュニケーション」「韓国語コミュニケーション」のうち2科目2単位以上を含め4単位以上、合計18単位以上。
イ.「こども総合科目」区分から必修科目4単位、選択科目は、「こどもの総合的理解」分野のうち「世界のこどもと教育」または「こどもの安全と危機管理」から1科目2単位以上、「こどもの表現と文化」分野のうち「地球のことばと表情」「自然観察」「スクールガーデニングA」「スクールガーデニングB」から2単位以上、合計8単位以上。
ウ.「教育専門科目」区分から必修科目45単位、選択科目は、「児童・生徒の理解」分野のうち「近代市民社会と学校」「教員養成の歴史」「学校教育の現代的課題」から2単位以上、「教科専門」分野（「初等国語」を除く。）から3科目6単位以上、合計70単位以上。
・履修科目の登録の上限：45単位（年間） 但し、キャリアインターンシップ、海外セミナー（カナダ）、教育インターンシップA～D、教育実習を除く。

【令和元年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教育専門科目	教科専門	初等国語	2後	2			1					
		社会	2前		2							1
		算数	2前		2		1					
		初等理科	2後		2				1			
		生活	1前		2				1			1
		初等音楽	1前		2		**1**					
		ピアノ演習A	1前		1							1
		ピアノ演習B	1後		1							1
		図画工作	1後		2							1
		初等家庭	2前		2			1				
		初等体育	1後		2							1
		初等英語	**2後**		**2**							**1**
	実践に学ぶ	教育実習指導	3前		1		**6**	**1**	2			
		教育実習	3後		4		**6**	**1**	2			
		教職実践演習（小学校）	4後		2		**4**	**1**	1			
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	3通	2			**6**	**1**	2			
		卒業研究Ⅱ	4通	2			**6**	**1**	2			

卒業要件及び履修方法

＜卒業要件＞
・授業科目区分ごとに定める最低履修単位数の計96単位以上（うち必修科目**64単位**）、及び授業科目区分に関わりなく履修する選択科目の単位数計30単位以上により、合計126単位以上を修得すること。
・学則に定める自由履修科目（他学部・他学科の授業科目等）については12単位を上限として卒業要件単位数に含めることができる。
＜履修方法＞
・授業科目区分ごとに定める最低履修単位数の修得方法はア～ウとする。
ア.「人間総合科目」区分から必修科目11単位、選択科目は、「文化・社会」分野から2単位以上、「生命・自然」分野から1単位以上、「コミュニケーション」分野から、「英語コミュニケーションA」「英語コミュニケーションB」「中国語コミュニケーション」「韓国語コミュニケーション」のうち2科目2単位以上を含め4単位以上、合計18単位以上。
イ.「こども総合科目」区分から必修科目4単位、選択科目は、「こどもの総合的理解」分野のうち「世界のこどもと教育」または「こどもの安全と危機管理」から1科目2単位以上、「こどもの表現と文化」分野のうち「地球のことばと表情」「自然観察」「スクールガーデニングA」「スクールガーデニングB」から2単位以上、合計8単位以上。
ウ.「教育専門科目」区分から必修科目**49単位**、選択科目は、「児童・生徒の理解」分野のうち「近代市民社会と学校」「教員養成の歴史」「学校教育の現代的課題」から2単位以上、「教科専門」分野（「初等国語」を除く。）から3科目6単位以上、合計70単位以上。
・履修科目の登録の上限：45単位（年間） 但し、キャリアインターンシップ、海外セミナー（カナダ）、教育インターンシップA～D、教育実習を除く。

【平成３０年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
人間総合科目	学びの技法	スタディナビゲーションA	1前	1			6	1	2			
		スタディナビゲーションB	1後	1			6	1	2			
		スタディナビゲーションC	2前	1			6	1	2			
		スタディナビゲーションD	2後	1			6	1	2			
	文化・社会	社会学	1・2・3・4前・後		2							1
		法学（日本国憲法を含む）	1前	2								1
		現代人と宗教	1・2・3・4後		2							1
		ボランティア・NPO論	1・2・3・4前		2							1
		経済学	1・2・3・4前		2							1
		歴史入門	1・2・3・4前・後		2							1
		文学と人間	1・2・3・4後		2							1
		音楽文化史	1・2・3・4後		2		1					
		美と表現	1・2・3・4前・後		2							2
		歌舞伎入門	1・2・3・4前・後		2			1				
		日本文化	1・2・3・4前・後		2			1				
		ジャパノロジー入門	1・2・3・4前・後		2			1				
		カナダ文化の理解	1・2・3・4前		2							1
		アジアの社会と文化	1・2・3・4後		2							1
		アメリカの生活と文化	1・2・3・4後		2							1
	生命・自然	自然科学の成立と発展	1・2・3・4前		2							1
		生命の倫理	1・2・3・4後		2							1
		心理学	1・2・3・4前・後		2							1
		生活と環境	1・2・3・4前・後		2							1
		色彩論	1・2・3・4前		2							1
		生き物の科学	1・2・3・4前・後		2				1			1
		宇宙へのアプローチ	1・2・3・4後		2							1
		健康とスポーツ	1後	2								1
		体育実技	1前	1								1
	コミュニケーション	コミュニケーションスキル	1・2・3・4後		1							1
		アートコミュニケーション	1・2・3・4前		1							1
		コンピュータリテラシⅠ（基礎）	1前	1					1			
		コンピュータリテラシⅡ（応用）	1後	1					1			
		英語コミュニケーションA（こどもの文化）	1・2・3・4前・後		1							1
		英語コミュニケーションB（日常会話）	1・2・3・4前・後		1							1
		中国語コミュニケーション	1・2・3・4前・後		1							1
		韓国語コミュニケーション	1・2・3・4前・後		1							1
		日本語表現	1・2・3・4前・後		1		1					
		キャリアデザイン	2・3・4後		1							1
		キャリアインターンシップ	2・3・4通		2		1					2
こども総合科目	こどもの総合的理解	こども理解と観察	1通	2			1					
		こどもの権利	1後		2							1
		現代家族とこども	3前		2							1
		こどもと福祉社会	2後		2							1
		世界のこどもと教育	2後		2		1					
		こどもの安全と危機管理	3前		2		2					
		ジェンダーと現代社会	1後		2							1
		フィールド体験	1通		1				2			12
		海外セミナー(カナダ)	1・2・3後		2			1				2

【平成２９年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
人間総合科目	学びの技法	スタディナビゲーションA	1前	1			6	1	2			
		スタディナビゲーションB	1後	1			6	1	2			
		スタディナビゲーションC	2前	1			6	1	2			
		スタディナビゲーションD	2後	1			6	1	2			
	文化・社会	社会学	1・2・3・4前・後		2							1
		法学（日本国憲法を含む）	1前	2								1
		現代人と宗教	1・2・3・4後		2							1
		ボランティア・NPO論	1・2・3・4前		2							1
		経済学	1・2・3・4前		2							1
		歴史入門	1・2・3・4前・後		2							1
		文学と人間	1・2・3・4後		2							1
		音楽文化史	1・2・3・4後		2		1					
		美と表現	1・2・3・4前・後		2							2
		歌舞伎入門	1・2・3・4前・後		2			1				
		日本文化	1・2・3・4前・後		2			1				
		ジャパノロジー入門	1・2・3・4前・後		2			1				
		カナダ文化の理解	1・2・3・4前		2							1
		アジアの社会と文化	1・2・3・4後		2							1
		アメリカの生活と文化	1・2・3・4後		2							1
	生命・自然	自然科学の成立と発展	1・2・3・4前		2							1
		生命の倫理	1・2・3・4後		2							1
		心理学	1・2・3・4前・後		2							2
		生活と環境	1・2・3・4前・後		2							1
		色彩論	1・2・3・4前		2							1
		生き物の科学	1・2・3・4前・後		2				1			1
		宇宙へのアプローチ	1・2・3・4後		2							1
		健康とスポーツ	1後	2								1
		体育実技	1前	1								1
	コミュニケーション	コミュニケーションスキル	1・2・3・4後		1							1
		アートコミュニケーション	1・2・3・4前		1							1
		コンピュータリテラシⅠ（基礎）	1前	1					1			
		コンピュータリテラシⅡ（応用）	1後	1					1			
		英語コミュニケーションA（こどもの文化）	1・2・3・4前・後		1							1
		英語コミュニケーションB（日常会話）	1・2・3・4前・後		1							1
		中国語コミュニケーション	1・2・3・4前・後		1							1
		韓国語コミュニケーション	1・2・3・4前・後		1							1
		日本語表現	1・2・3・4前・後		1		1					
		キャリアデザイン	2・3・4後		1							1
		キャリアインターンシップ	2・3・4通		2		1					2
こども総合科目	こどもの総合的理解	こども理解と観察	1通	2			1					
		こどもの権利	1後		2							1
		現代家族とこども	3前		2							1
		こどもと福祉社会	2後		2							1
		世界のこどもと教育	2後		2		1					
		こどもの安全と危機管理	3前		2		2					
		ジェンダーと現代社会	1後		2							1
		フィールド体験	1通		1				2			12
		海外セミナー(カナダ)	1・2・3後		2			1				2

【平成３０年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
こども総合科目	こどもの表現と文化	こどもの表現と創造性	2前	2			1					1
		合奏アレンジメント	2･3･4後		1		1					
		ヴォーカルボディワーク	1･2･3･4前･後		1							1
		ヴォーカルアンサンブル	1･2･3･4前･後		1							1
		ソングライティング	3･4前		2		1					
		音響デザインとテクノロジー	3･4後		2							1
		ストリートダンス	1･2･3･4前		1							1
		絵画制作	2･3･4前･後		1							1
		イノセンスアート	2･3･4後		1							1
		児童文化	2･3･4前		1							1
		紙芝居入門	2･3･4後		1							1
		英語の歌あそび	2･3･4後		1							1
		地球のことばと表情	2･3･4前		2							1
		自然観察	2通		1				1			
		スクールガーデニングA	1･2･3･4通		1							1
		スクールガーデニングB	1･2･3･4通		1							1
教育専門科目	児童・生徒の理解	近代市民社会と学校	3前		2		1					
		教員養成の歴史	3後		2				1			
		学校教育の現代的課題	2前		2							1
		臨床心理学	3後		2		1					
		家族の心理学	2･3･4前･後		2		1					
		グループダイナミクス	3後		1							1
		特別支援教育入門	1後		2							1
	教育の実践と応用	スクールソーシャルワーク	2後		2							1
		学校経営と学校図書館	3前		2							1
		学校図書館メディアの構成	3後		2							1
		学習指導と学校図書館	4前		2							1
		読書と豊かな人間性	3前		2		1					
		情報メディアの活用	4後		2							1
		外国語活動指導法	4前		2							1
		教育インターンシップA	1通	1			6	1	2			
		教育インターンシップB	2通		1		6	1	2			
		教育インターンシップC	3通		1		6	1	2			
		教育インターンシップD	4通		1		6	1	2			
		介護等体験	4通		1				1			
	教職基礎・教科指導法	教職入門	1前	2			2					1
		教育学概論	1前	2			1					
		教育心理学基礎論	1後	2								1
		教育の制度と経営	2後	2			1					
		教育課程論	2後	2								1
		初等国語科指導法	2後	2			1					
		初等社会科指導法	2後	2								1
		算数指導法	2後	2			1					
		初等理科指導法	3前	2					1			1
		生活科指導法	1後	2								1
		初等音楽科指導法	2前	2								1
		図画工作指導法	1後	2								1
		初等家庭科指導法	2後	2				1				
		初等体育科指導法	2前	2								1
		初等特別活動論	1前	2								1
		教育の方法と技術	3前	2								1
		初等道徳教育	2前	2								1
		児童指導基礎論	3前	2								1
		教育相談の基礎	3後	2			1					

【平成２９年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
こども総合科目	こどもの表現と文化	こどもの表現と創造性	2前	2			1					1
		合奏アレンジメント	2･3･4後		1		1					
		ヴォーカルボディワーク	1･2･3･4前･後		1							1
		ヴォーカルアンサンブル	1･2･3･4前･後		1							1
		ソングライティング	3･4前		2		1					
		音響デザインとテクノロジー	3･4後		2							1
		ストリートダンス	1･2･3･4前		1							1
		絵画制作	2･3･4前･後		1							1
		イノセンスアート	2･3･4後		1							1
		児童文化	2･3･4前		1							1
		紙芝居入門	2･3･4後		1							1
		英語の歌あそび	2･3･4後		1							1
		地球のことばと表情	2･3･4前		2							1
		自然観察	2通		1				1			
		スクールガーデニングA	1･2･3･4通		1							1
		スクールガーデニングB	1･2･3･4通		1							1
教育専門科目	児童・生徒の理解	近代市民社会と学校	3前		2		1					
		教員養成の歴史	3後		2				1			
		学校教育の現代的課題	2前		2							1
		臨床心理学	3後		2		1					
		家族の心理学	2･3･4前･後		2		1					
		グループダイナミクス	3後		1							1
		特別支援教育入門	1後		2							1
	教育の実践と応用	スクールソーシャルワーク	2後		2							1
		学校経営と学校図書館	3前		2							1
		学校図書館メディアの構成	3後		2							1
		学習指導と学校図書館	4前		2							1
		読書と豊かな人間性	3前		2		1					
		情報メディアの活用	4後		2							1
		外国語活動指導法	4前		2							1
		教育インターンシップA	1通	1			6	1	2			
		教育インターンシップB	2通		1		6	1	2			
		教育インターンシップC	3通		1		6	1	2			
		教育インターンシップD	4通		1		6	1	2			
		介護等体験	4通		1				1			
	教職基礎・教科指導法	教職入門	1前	2			2					1
		教育学概論	1前	2			1					
		教育心理学基礎論	1後	2								1
		教育の制度と経営	2後	2			1					
		教育課程論	2後	2								1
		初等国語科指導法	2後	2			1					
		初等社会科指導法	2後	2								1
		算数指導法	2後	2			1					
		初等理科指導法	3前	2					1			1
		生活科指導法	1後	2								1
		初等音楽科指導法	2前	2								1
		図画工作指導法	1後	2								1
		初等家庭科指導法	2後	2				1				
		初等体育科指導法	2前	2								1
		初等特別活動論	1前	2								1
		教育の方法と技術	3前	2								1
		初等道徳教育	2前	2								1
		児童指導基礎論	3前	2								1
		教育相談の基礎	3後	2			1					

【平成３０年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教育専門科目	教科専門	初等国語	2後	2			1					
		社会	2前		2							1
		算数	2前		2		1					
		初等理科	2後		2				1			
		生活	1前		2				1			1
		初等音楽	1前		2		1					
		ピアノ演習A	1前		1							1
		ピアノ演習B	1後		1							1
		図画工作	1後		2							1
		初等家庭	2前		2			1				
		初等体育	1後		2							1
	実践に学ぶ	教育実習指導	3前		1		6	1	2			
		教育実習	3後		4		6	1	2			
		教職実践演習	4後		2		4	1	1			
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	3通	2			6	1	2			
		卒業研究Ⅱ	4通	2			6	1	2			

卒業要件及び履修方法

＜卒業要件＞
・授業科目区分ごとに定める最低履修単位数の計96単位以上（うち必修科目60単位）、及び授業科目区分に関わりなく履修する選択科目の単位数計30単位以上により、合計126単位以上を修得すること。
・学則に定める自由履修科目（他学部・他学科の授業科目等）については12単位を上限として卒業要件単位数に含めることができる。
＜履修方法＞
・授業科目区分ごとに定める最低履修単位数の修得方法はア～ウとする。
ア.「人間総合科目」区分から必修科目11単位、選択科目は、「文化・社会」分野から2単位以上、「生命・自然」分野から1単位以上、「コミュニケーション」分野から、「英語コミュニケーションA」「英語コミュニケーションB」「中国語コミュニケーション」「韓国語コミュニケーション」のうち2科目2単位以上を含め4単位以上、合計18単位以上。
イ.「こども総合科目」区分から必修科目4単位、選択科目は、「こどもの総合的理解」分野のうち「世界のこどもと教育」または「こどもの安全と危機管理」から1科目2単位以上、「こどもの表現と文化」分野のうち「地球のことばと表情」「自然観察」「スクールガーデニングA」「スクールガーデニングB」から2単位以上、合計8単位以上。
ウ.「教育専門科目」区分から必修科目45単位、選択科目は、「児童・生徒の理解」分野のうち「近代市民社会と学校」「教員養成の歴史」「学校教育の現代的課題」から2単位以上、「教科専門」分野（「初等国語」を除く。）から3科目6単位以上、合計70単位以上。
・履修科目の登録の上限：45単位（年間）但し、キャリアインターンシップ、海外セミナー（カナダ）、教育インターンシップA～D、教育実習を除く。

【平成２９年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教育専門科目	教科専門	初等国語	2後	2			1					
		社会	2前		2							1
		算数	2前		2		1					
		初等理科	2後		2				1			
		生活	1前		2				1			1
		初等音楽	1前		2		1					
		ピアノ演習A	1前		1							1
		ピアノ演習B	1後		1							1
		図画工作	1後		2							1
		初等家庭	2前		2			1				
		初等体育	1後		2							1
	実践に学ぶ	教育実習指導	3前		1		6	1	2			
		教育実習	3後		4		6	1	2			
		教職実践演習	4後		2		4	1	1			
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	3通	2			6	1	2			
		卒業研究Ⅱ	4通	2			6	1	2			

卒業要件及び履修方法

＜卒業要件＞
・授業科目区分ごとに定める最低履修単位数の計96単位以上（うち必修科目60単位）、及び授業科目区分に関わりなく履修する選択科目の単位数計30単位以上により、合計126単位以上を修得すること。
・学則に定める自由履修科目（他学部・他学科の授業科目等）については12単位を上限として卒業要件単位数に含めることができる。
＜履修方法＞
・授業科目区分ごとに定める最低履修単位数の修得方法はア～ウとする。
ア.「人間総合科目」区分から必修科目11単位、選択科目は、「文化・社会」分野から2単位以上、「生命・自然」分野から1単位以上、「コミュニケーション」分野から、「英語コミュニケーションA」「英語コミュニケーションB」「中国語コミュニケーション」「韓国語コミュニケーション」のうち2科目2単位以上を含め4単位以上、合計18単位以上。
イ.「こども総合科目」区分から必修科目4単位、選択科目は、「こどもの総合的理解」分野のうち「世界のこどもと教育」または「こどもの安全と危機管理」から1科目2単位以上、「こどもの表現と文化」分野のうち「地球のことばと表情」「自然観察」「スクールガーデニングA」「スクールガーデニングB」から2単位以上、合計8単位以上。
ウ.「教育専門科目」区分から必修科目45単位、選択科目は、「児童・生徒の理解」分野のうち「近代市民社会と学校」「教員養成の歴史」「学校教育の現代的課題」から2単位以上、「教科専門」分野（「初等国語」を除く。）から3科目6単位以上、合計70単位以上。
・履修科目の登録の上限：45単位（年間）但し、キャリアインターンシップ、海外セミナー（カナダ）、教育インターンシップA～D、教育実習を除く。

（注）・　報告年度の5月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成２９年度】

・准教授から教授への昇任の理由により、「スタディナビゲーションＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ」、「教育インターンシップＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ」、「教育実習指導」、「教育実習」、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授５」から「教授６」、「准教授２」から「准教授１」に変更。「音楽文化史」、「こどもの表現と創造性」、「合奏アレンジメント」、「ソングライティング」、「初等音楽」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。「教職実践演習」の専任教員等の配置を「教授３」から「教授４」、「准教授２」から「准教授１」に変更。
・兼任教員辞任の理由により、「心理学」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・兼担教員２名辞任の理由により、「フィールド体験」の専任教員等の配置を「兼１４」から「兼１２」に変更。

【平成３０年度】

・「心理学」担当の兼担教員の異動に伴う科目調整により、専任教員等の配置を「兼２」から「兼１」に変更。

【令和元年度】

・教職課程認定申請（再課程認定）の理由により、授業科目の名称を「特別支援教育入門」から「特別支援教育」に変更。選択2単位から必修2単位に変更。科目群を「児童・生徒の理解」から「教職基礎・教科指導法」に変更。
・教職課程認定申請（再課程認定）の理由により、授業科目の名称を「外国語活動指導法」から「初等英語科指導法」に変更。配当年次を4年次前期から3年次前期に変更。選択2単位から必修2単位に変更。科目群を「教育の実践と応用」から「教職基礎・教科指導法」に変更。
・教職課程認定申請（再課程認定）の理由により、授業科目の名称を「初等特別活動論」から「特別活動及び総合的な学習の時間の指導法」に変更。配当年次を1年次前期から1年次後期に変更。
・教職課程認定申請（再課程認定）の理由により、授業科目の名称を「児童指導基礎論」から「児童指導と進路指導」に変更。
・教職課程認定申請（再課程認定）の理由により、授業科目の名称を「教職実践演習」から「教職実践演習（小学校）」に変更。
・教職課程認定申請（再課程認定）の理由により、「初等英語」（2年次後期・選択2単位）を追加。
・教職課程認定申請（再課程認定）の理由により、卒業要件の最低履修単位数、必修科目60単位から64単位に変更。履修方法のウ必修科目45単位から49単位に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
34 科目	84 科目	0 科目	118 科目	36 科目 [2]	83 科目 [△1]	科目 [ ]	119 科目 [1]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目　「該当なし」

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目　「該当なし」

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「該当なし」

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{119} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	浦和大学短期大学部と共用
	校舎敷地	0㎡	29,201.00㎡	0㎡	29,201.00㎡	
	運動場用地	0㎡	7,585.00㎡	0㎡	7,585.00㎡	
	小計	0㎡	36,786.00㎡	0㎡	36,786.00㎡	
	その他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	
	合計	0㎡	36,786.00㎡	0㎡	36,786.00㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	浦和大学短期大学部と共用
		7,084.48㎡ (6,425.42㎡)	13,307,66㎡ (13,966.72㎡)	657.00㎡ (657.00㎡)	21,049.14㎡ (21,049.14㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	25室	21室	13室	2室 (補助職員　0人)	― 室 (補助職員　0人)	大学全体

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	こども学部学校教育学科	10 9 室	平成30年４月専任教授１名を新規採用のため（30）

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	こども学部学校教育学科	71,167〔4,703〕 (62,738〔4,717〕)	693〔36〕 (698〔36〕)	5〔5〕 (5〔5〕)	1,625 (1,814)	0 (0)	0 (0)	学部単位での特定不明のため大学全体分
	計	71,167〔4,703〕 (62,738〔4,717〕)	693〔36〕 (698〔36〕)	5〔5〕 (5〔5〕)	1,625 (1,814)	0 (0)	0 (0)	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	1074.30㎡	120	126,000	

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	備考
	2,827.74㎡	テニスコート１面	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
経費の見積り	教員１人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	3,000千円	3,800千円	800千円
	共同研究費等	800千円	800千円	設備購入費	26,295千円	1,400千円	1,000千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,472千円	1,172千円	1,172千円	1,210千円	― 千円	― 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（元）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	浦和大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
こども学部	4	130	－	490	－	0.75	－	平成19	－	
こども学科	4	100	－	400	学士（こども学）	0.77	－	平成19	埼玉県さいたま市緑区大崎3551番地	
学校教育学科	4	30	－	90	学士（教育学）	0.68	－	平成29	同上	
総合福祉学部	4	70	－	310		0.53	－	平成15	－	
総合福祉学科	4	70	－	310	学士（社会福祉学）	0.53	平成29	平成15	同上	定員変更（△30）
大学全体	4	200	－	800	－	0.66	－	－	－	

大学の名称	浦和大学短期大学部									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍				
介護福祉科	2	60	－	120	短期大学士（介護福祉）	0.38	－	平成9	埼玉県さいたま市緑区大崎3551番地	
大学全体	2	60	－	120	－	0.38	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
届　出　時 （２８年）	総合福祉学部総合福祉学科及び浦和大学短期大学部介護福祉科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すると。	留意事項	平成３１年度入学者数は、総合福祉学科は６２名で対前年度と比較して２１名増（入学定員充足率約９０％）となっており、定員充足率０．７倍未満の解消に向かって昨年度以上に更なる回復傾向にあると分析している。介護福祉科は２３名で対前年度と比較して３名の増となっており、昨今の介護職務に対するマイナスイメージにもかかわらず、若干ではあるが、回復傾向にあると分析している。両学科の回復傾向の要因については、①平成２９年度末から浦和大学のブランディングを積極的に展開・推進するためのプロジェクトを立ち上げて、市場調査、ロゴ・タグライン制定、SNS・ホームページの戦略的・効果的活用、ホームページ全面リニューアル等様々な取組を進めきたこと、②平成３１年度入学生から、英検２級等の資格取得者を対象にした資格等特待生制度及び遠隔地学生学費減免制度を新設、並びに、経済的理由により学費納付が困難な学生に対する学習支援制度を充実して、優秀な学生を確保することとしたこと、③併設校との連携強化及び埼玉県内所在高校との高大連携協定の締結を推進してきたこと等によるものと分析している。介護福祉科については、これら以外に、外国人留学生を相当数受け入れるために、日本語学校との連携を強化したことによるものと分析している。	履行中	前年度に実施した入学者数増のための各種取組を一層推進して、一層の学生の確保に努める。また、大学については、文科省大学設置分科会運営委員会の事前相談に付した結果、教育研究組織を見直し、令和２年度からは、新たに現代社会学科を届出により設置し、併せて総合福祉学部を社会学部に名称変更し、既設の総合福祉学科と新設の現代社会学科の２学科体制とすることとしている。当該教育研究組織の見直しに伴って、総合福祉学科の入学定員を７０名から４０名に見直すことにより、入学定員の充足を図ることにしている。短期大学部介護福祉科についても、前年度に実施した入学者数増のための各種取組を一層推進して、一層の学生の確保に努めることとするが、今後とも学生数の動向と当該学科卒業生に対する社会的需要、法人の経営成績及び財政状況、学園の将来構想等を考慮しつつ教育研究組織の見直しを継続する。
	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、 定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	退職等による後任補充に当たっては、教育課程を考慮し、専門領域、職位、年齢構成のバランスを勘案しながら補充を行う。具体的には、他学部他学科からの異動等も含め教育・研究業績、経験等を審査し適任者を確保するとともに、中堅・若手教員の採用を視野に入れ、教育・研究機能の継続性を確保。	履行中	設置時において、教員養成に対する熱意と大学教育経験並びに小学校校長等実務経験豊富な教授を多く配置する教員組織編成を行って学科の教育力を構築することを目指したため、完成年度前に定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の比率が高い。退職が確定している教員の後任については完成年度前に、定年規程の趣旨を踏まえた教員採用計画を立てる。学内の異動や公募等によって、教育・研究業績、経験等において本学科に相応しい適任者を、若手・中堅教員を重点的に補充するなど年齢のバランスのとれた教員組織編成を引き続き目指す。

設置計画履行状況調査時（２９年）	こども学部学校教育学科の定員充足率の平均が０．７倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること	改善意見	平成３１年度入学者数は、２４名で前年度と比較して５名増（入学定員充足率８０％）となっており、定員充足率の平均が０．７倍近くまでになっている。要因としては、①地域教育界の要請に応えるために、１年次から外部講師による英語教育や２年次のハワイ短期留学プログラムなどを取り入れてきたことにより教育の充実に努めてきたこと、②平成２９年度末から浦和大学のブランディングを積極的に展開・推進するためのプロジェクトを立ち上げて、市場調査、ロゴ・タグライン制定、SNS・ホームページの戦略的・効果的活用、ホームページ全面リニューアル等様々な取組を進めきたこと、③平成３１年度入学生から、英検２級等の資格取得者を対象にした資格等特待生制度及び遠隔地学生学費減免制度を新設、並びに、経済的理由により学費納付が困難な学生に対する学習支援制度を充実して、優秀な学生を確保することとしたこと、④併設校との連携強化及び埼玉県内所在高校との高大連携協定の締結を推進してきたこと、⑤教職員による指定校の悉皆訪問や出張講義を精力的に取り組んできたこと、等によるものと分析している。	履行中	前年度に実施した各種取組を一層推進することにより、定員充足率０．７倍以上の入学者数を確保することを目指す。
	同一設置者が設置する既設学部等（総合福祉学部総合福祉学科、浦和大学短期大学部介護福祉科）の定員充足率の平均が０．７倍未満になっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること	改善意見	平成３１年度入学者数は、総合福祉学科は６２名で対前年度と比較して２１名増（入学定員充足率約９０％）となっており、定員充足率０．７倍未満の解消に向かって昨年度以上に更なる回復傾向にあると分析している。介護福祉科は２３名で対前年度と比較して３名の増となっており、昨今の介護職務に対するマイナスイメージにもかかわらず、若干ではあるが、回復傾向にあると分析している。両学科の回復傾向の要因については、①平成２９年度末から浦和大学のブランディングを積極的に展開・推進するためのプロジェクトを立ち上げて、市場調査、ロゴ・タグライン制定、SNS・ホームページの戦略的・効果的活用、ホームページ全面リニューアル等様々な取組を進めきたこと、②平成３１年度入学生から、英検２級等の資格取得者を対象にした資格等特待生制度及び遠隔地学生学費減免制度を新設、並びに、経済的理由により学費納付が困難な学生に対する学習支援制度を充実して、優秀な学生を確保することとしたこと、③併設校との連携強化及び埼玉県内所在高校との高大連携協定の締結を推進してきたこと等によるものと分析している。介護福祉科については、これら以外に、外国人留学生を相当数受け入れるために、日本語学校との連携を強化したことによるものと分析している。	履行中	前年度に実施した入学者数増のための各種取組を一層推進して、一層の学生の確保に努める。また、大学については、文科省大学設置分科会運営委員会の事前相談に付した結果、教育研究組織を見直し、令和２年度からは、新たに現代社会学科を届出により設置し、併せて総合福祉学部を社会学部に名称変更し、既設の総合福祉学科と新設の現代社会学科の２学科体制とすることとしている。当該教育研究組織の見直しに伴って、総合福祉学科の入学定員を７０名から４０名に見直すことにより、入学定員の充足を図ることにしている。短期大学部介護福祉科についても、前年度に実施した入学者数増のための各種取組を一層推進して、一層の学生の確保に努めることとするが、今後とも学生数の動向と当該学科卒業生に対する社会的需要、法人の経営成績及び財政状況、学園の将来構想等を考慮しつつ教育研究組織の見直しを継続する。

設置計画履行状況調査時（３０年）	入学定員未充足の改善に努めること（こども学部学校教育学科）	指摘事項（改善）	平成３１年度入学者数は、２４名で前年度と比較して５名増（入学定員充足率８０％）となっており、定員充足率の平均が０．７倍近くまでになっている。要因としては、①地域教育界の要請に応えるために、１年次から外部講師による英語教育や２年次のハワイ短期留学プログラムなどを取り入れてきたことにより教育の充実に努めてきたこと、②平成２９年度末から浦和大学のブランディングを積極的に展開・推進するためのプロジェクトを立ち上げて、市場調査、ロゴ・タグライン制定、SNS・ホームページの戦略的・効果的活用、ホームページ全面リニューアル等様々な取組を進めきたこと、③平成３１年度入学生から、英検２級等の資格取得者を対象にした資格等特待生制度及び遠隔地学生学費減免制度を新設、並びに、経済的理由により学費納付が困難な学生に対する学習支援制度を充実して、優秀な学生を確保することとしたこと、④併設校との連携強化及び埼玉県内所在高校との高大連携協定の締結を推進してきたこと、⑤教職員による指定校の悉皆訪問や出張講義を精力的に取り組んできたこと、等によるものと分析している。	履行中	前年度に実施した各種取組を一層推進することにより、定員充足率０．７倍以上の入学者数を確保することを目指す。

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜こども学部　学校教育学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①教育実習の当該受講資格 浦和大学こども学部小学校教員養成課程に関する細則第３条第３項に基づき、別表１に定める最低履修要件を満たしていることを要件とする。	文部科学省教職員課より、「教育課程及び指導法に関する科目」「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」を受講資格に加える旨指導があったことから、別表１に「備考」欄を設け、当該受講資格の要件を詳細に明記した。（別添１「新旧対照表」参照）

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

FD委員会。浦和大学ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会規程（別添２）。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

年4回開催。全学的な委員会で、教員は各学科から選ばれ参加している。

ｃ　委員会の審議事項等

1年間の計画の策定。個々の計画の実施方法と実施内容。

②　実施状況

ａ　実施内容

①新任教員の研修

②学生による授業評価アンケートの実施

③FD研修会

ｂ　実施方法

①は、FD委員長が新任教員に能力開発の重要性を説明する。②は、学生が受講した授業を評価する。③は、専任教員全員を対象に講師が授業改善等について講演する。学校教育学科も含めて実施している。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

①～③は毎年度実施。①は新任教員全員が参加、②非常勤を含め全教員が評価対象となる、③毎回７５％程度が参加している。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

①は感想を述べてもらう。②は前後期行い教員評価につなげる。③は年度末に行い質疑応答を行う。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

有。前期末と後期末。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

教員に集計結果表及びアンケート用紙の現物を個別に渡している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項　「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例）

・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（４） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

入学者は定員を下回る24名にとどまった。しかし、入学した学生は、本学の他学科の入学生よりも全般に成績が良く、授業態度にも目的意識の高さが感じられる。今後は本学科の設置の趣旨を高校生にさらに浸透させるだけでなく、入学者に適切な教育を行い、成果を上げることで設置の趣旨に実効性をもたせ、質量の両面で所期の目的を達成していく。

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・平成３０年５月１日　公表

ｂ　公表方法

・大学ホームページ上に公開している。

③　認証評価を受ける計画

平成29年度に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けた。次回は令和6年度の予定。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「②　自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書（令和元年度）

ａ　ホームページへの公表予定の有無　（　有　・　無　）

ｂ　公表有の場合の公表（予定）時期　（　令和元年　６月　１日　）

ｂ　公表無の場合の特段の理由　（　　）

（注）・　今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。